

村の立てなおしで活やくしている二宮尊徳のことを知りました。そこで、高慶は二宮尊徳の教えをうけようとなりました。

尊徳はすぐには、高慶の入門をみとめませんでしたでしたが、高慶のかたい決心を知り入門をゆるしました。



仕法役所があった所  
(相馬市川原町)

富田高慶像



報徳記 富田高慶が書いた  
(博物館)

入門後、高慶は、だれよりも熱心に勉強し、二宮尊徳の考えや方法を学びました。

この教えをもとに、相馬藩では藩の立て直しを始めることになりました。まず、高慶は藩によびかけ仕法役所を作りました。そして高慶はだれよりも熱心にはたらきました。

この教えは二宮仕法（またはご仕法）とよばれるものです。

#### 入門までの高慶

高慶は二宮尊徳が入門をなかなかゆるしてくれないので、門の外で尊徳が教えているのを聞いたりして、入門のゆるしをまちました。高慶の熱意がみとめられたのは、半年後でした。入門後はとても熱心に勉強し、一番の門人になりました。